

創造的復興が“形”に!

かたち

熊本県では、単に地震の前の姿に戻すのではなく、より良い姿にする「創造的復興」に取り組んでいます。3月には、災害公営住宅の完成、4月には、くまモンポート八代のグランドオープン、そして、3年後の新ターミナルビル完成に向けて、阿蘇くまもと空港の国内線ビルが移転するなど、地域の活性化につながる「創造的復興」が形になっています。また、県内有数の観光地の一つである阿蘇では、アクセスルートなども着実に形になっています。

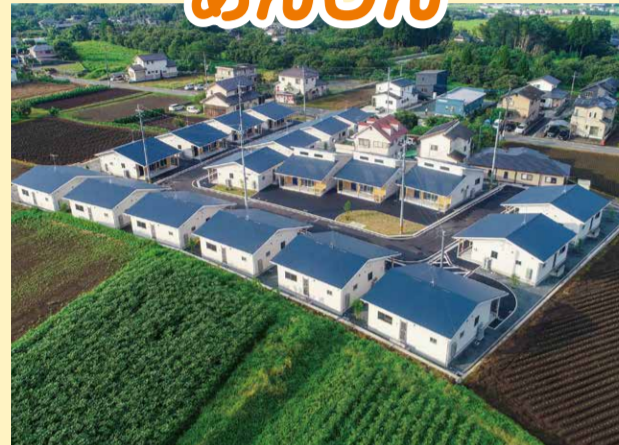


安心して希望に満ちた暮らしの創造 災害公営住宅が3月に全て完成!

熊本地震で被災され、住まいをなくされた方のための災害公営住宅が3月に1,715戸全て完成します。12市町村で整備された全ての災害公営住宅が、県産の木材や畳表などを使い、「あんしん」「あたたかさ」「ふれあい」のある熊本らしい住宅となっています。



あんしん



御船町小坂団地

地震に強く、熊本の気候風土に配慮するなど、耐震性や耐久性を高めています。

あたたかさ



益城町砥川第2団地

住宅を木造・木質化するとともに、段差解消など、ユニバーサルデザインに配慮しています。

ふれあい



南阿蘇村長陽西部団地

ベンチを設置し、交流スペースを設けるなど、居住者間や地域住民とコミュニケーションを図りやすい空間を創出しています。

一人一人に寄り添った支援

県内18市町村では、仮設住宅にお住まいの方や退去後も支援を必要とされる方の生活再建に向け、安心して日常生活を送れるよう、見守りや相談支援、住民の交流促進などの総合的な支援を行う「地域支え合いセンター」を設置しています。

地域支え合いセンターについて



宇土市境目団地

支援内容

相談員が訪問や電話により、世帯ごとの健康状態や困りごとをお聞きして専門機関へつなぐなど、一人一人に寄り添った支援を行っています。また、孤立することなく安心して暮らしていただけるよう、サロン活動や災害公営住宅の顔合わせ会などコミュニティづくりの支援を行っています。

住宅の再建と並行して、日常を支えるためのサポートが行われているんですね。

熊本学園大学 菊川裕基さん
私たちがレポートします!
熊本県内の大学生で構成される「たより隊」が熊本県のお知らせを、分かりやすくレポートします。



世界とつながる新たな熊本の創造

海の玄関口 くまモンポート八代 4月1日グランドオープン

海外からの誘客を促進するため、ロイヤルカリビアン社(RCL)、国、県の三者で整備を進めてきた「くまモンポート八代」が、4月から供用を開始します。クルーズ船専用岸壁(耐震強化岸壁)を整備し、世界最大級(22万トン級)のクルーズ船の受け入れが可能になります。芝生広場や日本庭園を備えた公園もありますので、ぜひ気軽にお越しください。

旅客ターミナル



熊本城をイメージした荘厳な外観です。税関などを機能的に配置し、検査時間を大幅に短縮できます。

日本庭園・竹林の道・ミニ神社



日本らしさを感じることで癒やしの場となっています。

販売エリア・フードコート



日本庭園やビッグくまモンを眺めながら、食事や休憩ができます。

空の玄関口 4月7日から国内線ビルが移転します

県は、阿蘇くまもと空港のポテンシャルを最大限に引き出し、空港周辺地域の活性化につなげる「大空港構想 NextStage」に取り組んでいます。その一環として、耐震性を有し、国内線と国際線が一体となった新たな旅客ターミナルビルが2023年春までに整備される予定です。

そのため、現在の国内線ビルは4月以降解体工事が始まり、4月7日から約3年間、国内線は、国際線ビル南側に新たに整備される国内線ビルを利用することになります。時間帯によっては混雑が予想されるため、時間に余裕をもって空港にお越しください。ご理解のほど、よろしくお願いします。



未来へつなぐ資産の創造

阿蘇のアクセスルートが着実に“形”に!

通勤・通学を円滑にするとともに、阿蘇観光の活性化につなげます。

写真で見る阿蘇のアクセスルート

国道57号現道

(2020年度中に開通見込み)

国道57号北側復旧ルート

(2020年度中に開通見込み)

俵山トンネルルート

2019年9月に全線開通

南阿蘇村立野地区

(2020年2月現在)

二重峠トンネル

(2019年12月現在)

国道325号阿蘇大橋ルート

(2020年度中に開通見込み)

JR豊肥本線

(2020年度中に運行再開見込み)

南阿蘇鉄道

(2023年夏に運行再開見込み)

3月14日(土)に「南阿蘇鉄道復活祭 -8thSTAGE-」が開催されます。

阿蘇の震災遺構が4月下旬に一般公開!

東海大学阿蘇キャンパス(南阿蘇村)内の震災遺構(旧東海大学阿蘇校舎1号館、地表地震断層)の保存工事が今春完了し、一般公開が始まります。

隣接する体験・展示施設の整備イメージ
くまもとアートポリスで取り組んでいる体験・展示施設は、2022年春オープン予定です。

熊本地震震災ミュージアムとは?

熊本地震の記憶や経験を後世に伝えるとともに、防災対応力の強化、交流人口の拡大を図るため、県内52件の震災遺構や拠点施設などで構成する「回廊型」のフィールドミュージアムです。